

キャラクター名  
萩原 希

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン	ワークス	レネゲイドビーイングC	カヴァー	高校生
	ハヌマーン				
オプション		年齢	16	性別	女
覚醒	生誕	衝動	解放	初期侵食率	40%
出自	レネゲイドファミリー	経験	過酷な環境	邂逅	霧谷 雄吾

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	2	0	0			2	行動値	7
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	7
精神	2	1	0			3	戦闘移動	12
社会	2	0	0			2	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
[24] 超血統/フルブラッドP		N		
萩原 侑	P 幸福感	N 無関心		
ウィスパーくん	P 親近感	N 嫌気		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
サイレンの魔女	7	5	メジャー	視界	シーン(選択)	対決	-	
効果: 攻撃力+Lv×3、装甲無視								
援護の風	7	2	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 判定+LvD、1回/1ラウンド								
ウィンドブレス	7	2	オート	視界	単体	自動	リミット	
効果: 判定+Lv×3								
ヒューマンズネイバー	1	-	常時	視界	自身	自動	RB	
効果: 衝動判定+LvD								
オリジン:レジェンド	1	2	マイナー	視界	自身	自動	RB	
効果: シーン間精神判定+Lv×2								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

オーヴァードの力を継承する日本の名家の領主と、何の変哲もないレネゲイドビーイングとの間に生まれたオーヴァード。彼女の弟と同様に、生まれついてその身に半共生型のレネゲイドビーイングを宿すとともにオーヴァードとして覚醒しており、後述の経歴から弟とともにUGNに保護され、現在はUGNチルドレンとして活躍をしている。長らくその所属が決まっていなかったが、この度単身でとある市の配属となった。職場にも学校にも未だ馴染めていないが、心優しい弟に心配を掛けず、掲げられる信念を見つけて出すため、今日も彼女は暴風を振り回す。

彼女の身体には、「わらい話」を起源とするレネゲイドビーイングである「ウィスパーくん」が憑依している。憑依と言っても彼と意識を独立させることも、ヒューマンズネイバーによって離別し、別個体として存在することも可能はずなのだが、通常時は彼から離れることを嫌ってその身に宿り、意識を共有している。しかしながら、彼女自身や彼女の周囲で陽気なジョークを飛ばし、その場を茶化すことを悦とする、能天気で退廃的な彼は、彼女の良い隣人でありながらも、全くと言っていい程その力をかしてくれない。何故かね。

彼女自身の性格としては、表情豊かな役者。口が上手く周りに合わせる事が得意であり、前述の彼女に宿る友人によって、周囲も彼女自身も笑顔にさせられるため、他人からは性格もいい完璧超人と映ることが多い。魅力的であろうとする立ち振る舞いのため、彼女と親しくなろうとする人物は多いのだが、勉強やオーヴァードとしての才に恵まれているにもかかわらず、彼女自身の感情や主張が非常に希薄である。優秀すぎるといってもいい成績や戦績と無機質で他人本位な彼女の在り方は、潜在的に人をイラつかせるらしく、真に親しいと言える人物は弟のみであるといえる。

その出自について、もう少し詳細に触れておく。彼女は代々オーヴァードとしての力を受け継ぐ日本の名家である久我家の現当主が、妻として見初めた女との間に生まれた子供である。久我の血を色濃く継ぎ、加えてその女が平穏を愛し、人間社会に溶け込むことを良しとしていたレネゲイドビーイングであったため、必然ながら彼女はオーヴァードとしての能力に恵まれた。しかしながら、そんな才覚は彼の幸福に何の足しにもならなかった。本家の都合から父親は実の子供を捨て、それに伴うように母親はその姿を消した。物心着く前に姉弟は二人きりとなってしまい、その現実絶望しながらも孤児として保護される。しかし、転機が訪れたのは数年前。遠縁の親戚が姉弟の里親を申し出たのである。ぎこちない程丁寧な扱いと、不自然な人の温もりで一時的幸福を感じながらも、その真相を知った姉弟は再び絶望することになる。その頃の久我家では、UGNに所属していた次代当主が行方をくらましたため跡目争いが勃発していた。どれを担ぎ上げ、そのおこぼれに頂戴するか。久我家に仕える分家達にとっては御家に箔をつけ、株を上げるための絶好の機会であり、それぞれが躍起となって策略を巡らしていた